確率·統計基礎 模擬期末試験

森 立平

問1

以下の確率質量関数および確率密度関数を持つ確率変数 X の期待値と分散をもとめよ。

- (1) Pr(X = 0) = 1 p, Pr(X = 1) = p for $p \in [0, 1]$.
- (2) $Pr(X = 0) = \frac{1}{2}$, $Pr(X = 1) = \frac{1}{3}$, $Pr(X = 2) = \frac{1}{6}$.

問2

正の実数 $\lambda > 0$ について、確率変数 X がポアソン分布にしたがうとする。つまり

$$\Pr(X = k) = \frac{\lambda^k e^{-\lambda}}{k!}$$

である。このとき以下の問に答えよ。

- (1) X のキュムラント母関数 $K_X(t) = \log \mathbb{E}[\mathbf{e}^{tX}]$ をもとめよ。
- (2) X のキュムラント母関数のルジャンドル変換 $I_X(a) = \sup_{t \in \mathbb{R}} \{at K_X(t)\}$ をもとめよ。
- (3) X_1, \ldots, X_N を X と独立同分布の確率変数とする。実数 a について、以下の値をクラメールの定理を用いてもとめよ。

$$\lim_{N \to \infty} \frac{1}{N} \log \Pr \left(\frac{X_1 + \dots + X_N}{N} \geq a \right).$$

問3

$$\Pr(S=0) = 4/11$$
 $\Pr(S=1) = 7/11$ $\Pr(X=0 \mid S=0) = 1/6$ $\Pr(X=1 \mid S=0) = 2/6$ $\Pr(X=2 \mid S=0) = 3/6$ $\Pr(X=1 \mid S=1) = 1/6$ $\Pr(X=2 \mid S=1) = 2/6$

とするとき、以下の問に答えよ。

- (1) X から S を最大事後確率推定する関数 $E_{\mathrm{MAP}}\colon A\to B$ と最尤推定する関数 $E_{\mathrm{ML}}\colon A\to B$ をもとめよ。
- (2) X から S を最大事後確率推定した場合の平均誤り確率をもとめよ。
- (3) X から S を最尤推定した場合の平均誤り確率をもとめよ。

問4

$$\Pr(X = 0 \mid S = 0) = \frac{1}{6} \qquad \qquad \Pr(X = 1 \mid S = 0) = \frac{2}{6} \qquad \qquad \Pr(X = 2 \mid S = 0) = \frac{3}{6}$$

$$\Pr(X = 0 \mid S = 1) = \frac{3}{6} \qquad \qquad \Pr(X = 1 \mid S = 1) = \frac{2}{6} \qquad \qquad \Pr(X = 2 \mid S = 1) = \frac{1}{6}$$

とする。このとき、 $\eta>0$ について、以下の尤度比検定関数 E(x) で仮説検定することを考える。

$$E(x) = \begin{cases} 0 & \text{if } \frac{\Pr(X=x|S=0)}{\Pr(X=x|S=1)} > \eta \\ 1 & \text{if } \frac{\Pr(X=x|S=0)}{\Pr(X=x|S=1)} < \eta \end{cases}$$

以下の問に答えよ。

1. 一般の $\eta > 0$ について、二種類の誤り確率

$$\alpha_E = \Pr(E(X) = 1 \mid S = 0)$$

 $\beta_E = \Pr(E(X) = 0 \mid S = 1)$

をもとめよ。 η の値で場合分けしてもとめること。

2. 任意の検定関数 $E: A \rightarrow [0,1]$ で実現可能な (α_E, β_E) の範囲を図示せよ。